

うつくしま ふくしま 土地改良だより

No.528

平成29年6月



土湯温泉～吾妻スカイライン

目次

●第59回通常総会……………	2	●水土里ネット福島主催による研修会、説明会……………	11
●新役員紹介……………	3	●非補助農業基盤整備資金について……………	12
●平成28年度特別功労者及び第58回土地改良功労者等、 農地集積優良地区の表彰式……………	4	●農業基盤整備資金の金利改定について……………	12
●新任の挨拶……………	6	●金沢調整池・東部森林公園 「さくらと水辺の回廊」ウォーキング……………	13
●全国水土里ネット第59回通常総会……………	7	●平成29年度全国土地改良大会、静岡県で開催……………	13
●全国水土里ネット表彰式……………	8	●平成29年度水土里ネット福島 組織機構……………	14
●各協議会の総会開催……………	9	●水土里ネット福島役員名簿……………	15
●平成28年度各委員会の開催……………	10	●平成29年度新規採用職員の紹介……………	15

皆様と共に農村の復興のため、
歩んでいきます。



水土里ネット福島

第59回通常総会

水土里ネット福島の第59回通常総会は、平成29年3月16日（木）に福島市「ベル・カーサ」で開催され、28年度特別功労者及び第58回土地改良功労者等表彰式の後、下記議案の審議が行われ、満場一致で可決承認された。

最後に決議（案）の朗読があり、満場の拍手で採択された。

第59回通常総会提出議案

- 議案第1号 土地改良基金業務方法書の一部改正について
- 議案第2号 平成27年度事業報告・財産目録及び収支決算の承認について
- 議案第3号 平成28年度事業実施状況及び一般会計・特別会計中間監査の結果報告の承認について
- 議案第4号 平成28年度一般賦課金の免除措置について
- 議案第5号 平成28年度事業変更計画及び一般会計・特別会計収支補正予算の専決処分の承認について
- 議案第6号 平成29年度賦課基準及び徴収方法について
- 議案第7号 平成29年度役員報酬について
- 議案第8号 平成29年度事業計画及び収支予算について
- 議案第9号 役員の補欠選任について



議長の磐梯西部土地改良区 小林嘉信理事長



挨拶を述べる車田次夫会長

会長あいさつ

本日は、第59回通常総会を開催いたしましたところ、会員の皆様には、ご多忙にもかかわらず多数のご出席をいただき誠にありがとうございます。

また、福島県知事様並びに東北農政局長様はじめ、ご来賓の皆様には、年度末の大変ご多忙の中、ご臨席を賜り厚く御礼を申し上げます。

日頃、皆様方には、本会の運営はもとより、本県の農業農村の振興発展のため多大な御尽力をいただいておりますことに対し、あらためて深く感謝を申し上げます。

また、本日の総会におきまして、表彰を受けられます皆様には、これまでの永年にわたる土地改良事業への多大なる御功績と御労苦に対しまして、心から敬意と感謝の意を表する次第であります。

さて、ご承知のとおり農業農村整備関連予算においては、平成28年度補正予算と平成29年度当初予算とを併せて、平成22年度に削減される前の予算水準まで回復いたしました。

これは、昨年、土地改良の代表として進藤金日子参議院議員が誕生した結果と言えるものであり、ひとえに皆様方のご支援の賜と深く感謝を申し上げる次第です。

さて、国では、昨年8月に新たな土地改良長期計画を策定いたしました。

これを実現していくためには、担い手への農地集積の加速化と高収益作物による農業所得確保に向け

た農地の大区画化や水田の汎用化、農業水利施設等の長寿命化、防災・減災対策などの土地改良事業を重点的に実施していかねばなりません。

また、農地中間管理機構との連携強化や共有地にかかる同意手続きなどの土地改良事業の円滑な実施に向けた制度の見直しとともに、土地改良区の体制強化等についても検討が進められております。

土地改良事業を推進し、基幹的の水利施設等を維持管理している土地改良区は、地域の農業を守る要の組織であります。

本会といたしましても、本県農業の振興・発展と独自財源の確保を含めた土地改良区の運営基盤の強化や土地改良事業の推進に努めて参りますので今後とも、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

なお、本日は平成29年度の事業計画及び収支予算など、9件の重要な議案を提出しておりますので、慎重なるご審議のうえ御議決を賜りますようお願い申し上げます。

決 議 (案)

農業・農村は、農産従事者の高齢化と後継者不在により、農地の荒廃、農地・農業用水等の管理や管農の継続が懸念されている。

しかし、将来的に食料の安定供給を確保し、農業・農村の多面的機能を発揮させていくためには、農地・農業用水等の地域資源を良好な状態で次世代に継承していかねばならない。

加えて、福島県においては、東日本大震災と原子力発電所事故による被災地域の早期の復興・再生が強く望まれている。

このような中、政府は、昨年八月に、新たな「土地改良長期計画」を閣議決定し、計画的かつ効果的に事業を進めていくために、産業政策としての「豊かで競争力のある農業」、地域政策としての「美しく活力ある農村」、その土台としての「強くしなやかな農業・農村」の3つの政策課題に取り組みしたところである。

しかし、これらの課題を解決するための農業農村整備関係予算は、平成二十八年度の補正予算と平成二十九年度の当初予算と併せて、大幅削減前の平成二十一年度の予算水準まで回復したが、事業を計画的に実施していくためには、当初予算による安定的な予算確保が不可欠である。

このため、現下の農業農村の現状を踏まえ、課題解決への施策が確実に展開されるよう、左記事項について、関係機関へ強く要望することを総会の名において決議する。

記

- 一、担い手への農地集積、生産コストの低減、高収益作物の生産等、農業の構造改革を加速化するため、農地の大区画化、水田の畑地化、汎用化等を一層推進すること。その際、中山間地域等の農業経営の持続的な発展に向けて、地域特性を踏まえた基盤の整備を図ること。
- 一、農業用ため池等を含む農業水利施設の効率的な維持管理は、多くの市町村で福島再生加速化交付金制度の活用を予定していることから、十分な予算と実施期間を確保し、復興・再生の加速化を図ること。
- 一、農村地域の強靱化に資するよう、ため池を含む農業水利施設等の更新・長寿命化や耐震化、洪水被害防止等の防災・減災対策を推進すること。
- 一、健全な農業生産活動に必要な水路、ため池等の農業水利施設を、今後とも適切に維持管理しているよう、土地改良区の運営基盤の強化を図ること。
- 一、多面的機能支払制度による農地や水路、農道等の保全活動の推進に当たっては、十分な予算の確保を図るとともに、土地改良区がこれまで培ってきた技術・経験などを十分活用して進めること。
- 一、再生可能エネルギーの普及、土地改良施設の維持管理費の低減等に資するため、農村の資源を有効活用する小水力発電等を推進すること。
- 一、これらの政策推進のために必要な農業農村整備関係予算を当初予算で確保するとともに、所要の地方財政措置を講ずること。

平成二十九年三月十六日

福島県土地改良事業団体連合会
第五十九回通常総会

新 役 員 紹 介

第59回通常総会において、理事1名、監事1名が選任されました。

また、理事の互選会で専務理事に後藤庸貴氏（学識経験者）が選任されました。



専務理事

後 藤 庸 貴 氏
(学識経験者)



監 事

佐 藤 寛 氏
(会津中央土地改良区理事長)

平成28年度特別功労者及び第58回土地改良功労者等、農地集積優良地区の表彰式

第59回通常総会において、永年、土地改良事業に功績があった特別功労者1名、土地改良功労者14名、永年勤続職員1名と農地集積優良地区に対し、車田次夫会長より表彰状授与及び記念品の贈呈が行われた。

平成28年度特別功労者表彰

磐梯町 **鈴木直春** 氏



鈴木直春氏（元本会監事）

第58回土地改良功労者及び永年勤続職員表彰

1. 土地改良功労者

(1) 役員

福島市土地改良区会計担当理事

前：東根堰土地改良区会計担当理事

江花川沿岸土地改良区監事

会津東部土地改良区理事長

会津若松市湊土地改良区副理事長

只見町土地改良区理事長

新地町土地改良区理事

新地町土地改良区理事

小川町土地改良区理事

小川町土地改良区理事

加	藤	友	七	氏
佐	藤	常	夫	氏
佐	藤	清	一	氏
二	瓶	和	馬	氏
渡	部	紀	夫	氏
目	黒	吉	久	氏
加	藤	春	男	氏
水	戸	嘉	一	氏
會	川	和	美	氏
草	野	貞	幸	氏

(2) 職員

郡山市東部土地改良区主任

須賀川市土地改良区事務局長

棚倉町土地改良区事務局長

会津宮川土地改良区事務局長

伊	藤	智	恵	子	氏
橋	本	雄	司		氏
齋	藤	克	憲		氏
前	田	伸	一		氏

2. 永年勤続職員 (20年)

農村振興部環境整備課課長補佐

佐瀬隆聡氏



農地集積優良地区表彰

会津若松市湊土地改良区 原地区



新任の挨拶



水土里ネット福島

専務理事 後藤 庸 貴

会員の皆様には、日頃から農業農村整備事業の推進はもとより、本会の業務運営に特段のご指導ご支援を賜っておりますこと厚く御礼を申し上げます。

私こと、3月に開催されました第59回通常総会におきまして専務理事に選任され、4月1日に就任いたしました。会長、副会長を補佐しながら、農業農村整備の推進と会員共同の利益の増進に向け努力してまいりますので、皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

福島県内には89の土地改良区があり、10万人を超える組合員を擁しております。

それぞれの土地改良区では安定した農業経営に欠くことのできない水源施設や用排水路などを管理しながら地域農業を支えておりますが、近年の農業を取り巻く情勢の変化は、これら施設の維持管理にも大きく影を落としている状況にあります。

昨年3月に2015年農林業センサスが公表されましたが、20年前の平成7年に比べ、福島県の農業就業人口は約半分の77,703人となり、平均年齢は約7歳上がって67歳となるなど、農業に従事する方々の減少と高齢化には歯止めがかかっておりません。

しかしその一方で、経営規模の拡大は着実に進み、経営耕地面積5ha以上の販売農家数が約1.7倍の3,031戸に増加するといった明るい話題もあり、農業農村整備事業による生産基盤整備の成果が着実に現れているものと考えております。

また、国では高収益作物を導入した営農体系への転換に必要な水田の畑地化・畑作物に軸足を置いた汎用化を進めることとしておりますが、これまでの水稻中心の水利用形態に比べ作物と作期が変わることに伴い、水の需要量・時期が変化することなどにより、水管理者に求められる役割が質的にも変化し高度化してくるとの研究報告もあります。

このような状況の中にあって土地改良区は、農業に不可欠な水を含む農村地域の資源を管理する団体としての役割がより大きくなるとともに、地域に密着した農業者の相談窓口としての機能や、農村環境の保全を始めとする地域で取り組む様々な活動に関わっていくなど、その存在意義は更に高まっていくものと考えられます。

当連合会といたしましては、土地改良区は地域を守る重要な組織であるということを踏まえながら、会員の皆様と一緒にこれまで本会が培ってきた技術と経験を基に、農業農村の振興に全力を挙げて取り組んでまいり所存でありますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、会員皆様の今後益々のご健勝とご活躍をお祈りいたしまして、挨拶といたします。

全国水土里ネット第59回通常総会

平成29年3月24日(金)、全国水土里ネットの第59回通常総会が「都市センターホテル」(東京都千代田区平河町)において、開催された。

当日は、高貝副会長の挨拶、故中原副会長への黙祷を捧げた後、香川県土連の大山会長が議長に選任され議事に入った。

総会では、上程された13の議案が審議され、質疑を経て原案通り承認された。

今回は理事の補欠選任が行われ、藤原新理事(長野県土連会長)、小林新専務理事が選任、また、西村新副会長を理事会で互選されたことが報告された。

最後に総会決議文(案)が朗読され、満場一致で採択された。



挨拶を述べる高貝副会長



祝辞を述べる進藤参議院議員

決議(案)

全国の農村では、都市に先駆けて高齢化や人口減少が進んでおり、農業従事者の高齢化、減少等により、農地、農業用水等の管理や営農の維持が困難になるなど、様々な影響をもたらすことが想定される。

農業を、次世代の担い手にとって魅力ある産業としていくためには、農地の集積集約、大区画化、汎用化等の農地整備や将来を見越した進時適切な農業水利施設等の維持・更新が必要となっている。加えて、全国各地でため池を含む農業水利施設等の老朽化が進行する中、大規模地震や気候変動による豪雨災害が多発しており、国民の生命と財産を守るためにも、ため池等の耐震化や洪水被害防止対策などの農村地域の防災・減災対策の推進が重要な課題となっている。

水土里ネットは、力強い農業の実現等を通じた食料の安定供給や農業・農村の多面的機能を発揮させるため、先人達のたゆまぬ努力により維持・活用されてきた農地・農業用水等の地域資源を良好な状態で次世代に継承していく責務がある。

この責務の遂行に不可欠な土地改良関係予算は、昨年、「開う土地改良」の旗印の下、組織を挙げて様々な活動を行った結果、平成二十八年度補正予算と平成二十九年度当初予算を合わせて五千七百七十二億円を確保し、大幅削減前の水準を実現することが出来た。それでも、当初予算は大幅削減前の七割に留まっており、引き続き、当初予算の回復を要求していく必要がある。

政府は昨年八月に新たな「土地改良長期計画」を閣議決定し、十一月には「農林水産業・地域の活力創造プラン」を改訂するなど各種施策に積極的に取り組んでいるところである。水土里ネットは、農業・農村、更には、我々自身が抱える課題をも直視し、国が示した農政の方向を踏まえ、女性の能力も活用しつつ積極的な貢献を果たしていく覚悟である。

以上のことを踏まえ、ここに参集した同志が「開う土地改良」の旗印の下に、一致団結して、次の事項の実現を図り、農業農村整備を推進していくことを総会の名において決議する。

記

- 一 土地改良関係の当初予算を可及的速やかに平成二十一年度水準に復活すること。特に、安定的・計画的な事業執行のために、米の直接支払交付金が廃止される平成三十年度当初予算においては、現場のニーズに十分応えられる規模の予算を確保すること。
- 一 農地中間管理機構と連携した農業者の費用負担や同意を求めないほ場整備事業や、ため池等の耐震化を急速に進める事業の創設、また、機能向上に伴う施設更新の事業手続の簡素化等を盛り込んだ土地改良法等の改正を速やかに進めること。
- 一 特に、農地中間管理機構と連携したほ場整備の実施に当たっては、水土里ネットが有する技術・経験、水土里情報システムなど持てる能力を十分発揮できるよう配慮することにも、既存の事業実施地区との公平性を確保すること。
- 一 担い手への農地集積、生産コストの低減、高収益作物の生産等、農業の構造改革を加速化するため、農地の大区画化、水田の汎用化、畑地化、畑地・樹園地の高機能化等の対策を一層推進すること。その際、中山間地域等においても、農業経営の持続的発展に向けて、地域特性を踏まえた基盤の整備が可能となるよう十分配慮すること。
- 一 東日本大震災を始めとする未曾有の災害からの復旧・復興を早急かつ加速度的に進めるとともに、巨大地震や津波への備えとして除障事業を速やかに土地改良法上の災害復旧事業に位置付けること。
- 一 併せて、農村地域の強靱化に資するよう、ため池を含む農業水利施設等の耐震化や、老朽化した施設の機能向上を伴う更新、洪水被害防止のための地域排水機能の強化等の防災・減災対策を、国が責任を持って着実に推進すること。
- 一 このため、多面的機能支払制度による農地や水路、農道等の保全活動の推進に当たっては、十分な予算の確保を図るとともに、水土里ネットが有する技術・経験など持てる能力を十分発揮できるよう配慮すること。
- 一 構造改革の推進による組合員の減少や電力料金の値上げなど、水土里ネットの運営基盤が大きく揺らいでいる中、今後とも担い手等の求める高度な施設の維持管理が行えるよう、地域資源を有効に活用した小水力発電等による施設の維持管理費の軽減など、水土里ネットの運営基盤を強化する取組を推進すること。

平成二十九年三月二十四日

全国土地改良事業団体連合会 第五十九回通常総会

全国水土里ネット表彰式

全国水土里ネット第59回通常総会後、「シェンバツハ・サポー」(東京都千代田区平河町)において、全国水土里ネット表彰式が、全国から受章者並びに各水土里ネットの会員が多数出席して開催された。

二階全国水土里ネット会長の式辞、山本農林水産大臣と進藤参議院の祝辞の後、表彰式が行われ、本県からは土地改良功労者表彰の団体の部で2団体、個人では5名の方々が表彰された。



式辞を述べる二階会長



祝辞を述べる山本農林水産大臣

第58回全国土地改良功労者等表彰

■団体表彰

【金賞】 棚倉町土地改良区



棚倉町土地改良区 鈴木正男理事長 (左)

【銀賞】 広戸川沿岸防災溜池土地改良区



広戸川沿岸防災溜池土地改良区 森修一上席理事 (中央)

■個人表彰

【役員】 前：東根堰土地改良区 理事長
郡山市多田野土地改良区 副理事長

【職員】 安積疏水土地改良区 総務担当参事
会津宮川土地改良区 主幹
南相馬土地改良区 技術参与

長谷川 康 夫 氏
鈴 木 旭 氏
橋 本 一 也 氏
永 峯 真 氏
川 崎 のり子 氏



安積疏水土地改良区 橋本一也総務担当参事 (中央)



南相馬土地改良区 川崎のり子技術参与 (中央)

各協議会の総会開催

福島県農業水利施設小水力等発電推進協議会 平成28年度通常総会



平成29年3月21日（火）、福島県土地改良会館（福島市）において、福島県農業水利施設小水力等発電推進協議会の平成28年度通常総会が開催された。

総会議事では、まず事務局から3報告事項の説明及び質疑がされた後、協議事項に移り提出された平成29年度事業計画（案）他、5議案について審議され、挙手多数で可決された。

福島県多面的機能支払推進協議会 平成29年度第1回総会

福島県多面的機能支払推進協議会の平成29年度第1回総会が平成29年5月22日（月）、福島県土地改良会館（福島市）で開催された。

総会議事では、平成28年度事業報告及び収支決算について、役員を選任についての2議案について審議の結果、可決された。



福島県農業集落排水協議会 第26回通常総会

福島県農業集落排水協議会の第26回通常総会が平成29年5月23日（火）、福島県土地改良会館（福島市）で開催された。

総会議事では、提出された平成28年度事業報告について他、4議案について審議の結果、総員挙手により可決された。



平成28年度各委員会の開催

平成28年度農道台帳管理委員会

平成29年2月7日（火）、福島県土地改良会館（福島市）において平成28年度農道台帳管理委員会が行われた。

議事では、まず報告事項として、平成27年度決算について事務局からの説明と質疑がなされ、続いて協議事項では平成28年度決算（中間）、平成29年度予算（案）など提出された5議案について審議され、全て承認された。

平成28年度福島県管理運営体制強化委員会



平成28年度福島県管理運営体制強化委員会は平成29年3月13日（月）、福島県土地改良会館（福島市）にて行われた。

当委員会は地方連合会が行う施設・財務管理強化対策等の内容の検討を行うものとして設置されており、今回は平成27年度収支決算報告（旧：土地改良施設管理円滑化事業）、平成28年度事業実施状況、平成29年度事業計画（案）などの5議題について審議が行われた。

平成28年度福島県受益農地管理強化委員会

平成28年度福島県受益農地管理強化委員会は平成29年3月13日（月）、福島県土地改良会館（福島市）にて行われた。

当委員会は地方連合会が行う換地事務に関する指導、換地技術者等に対する講習及び研修、農地利用集積に関する指導などの内容の検討を行うものとして設置され、今回は平成27年度収支決算報告（旧：土地改良換地等強化事業）、平成28年度事業報告、平成29年度事業計画（案）などの5議題について審議が行われた。



水土里ネット福島主催による研修会、説明会

平成28年度 土地改良区体制強化事業 「技術実践向上研修会」

平成29年2月23日（木）、福島グリーンパレス（福島市）において平成28年度 土地改良区体制強化事業「技術実践向上研修会」が行われた。

当研修は、土地改良区体制強化事業（技術実践向上研修）において土地改良区の役職員等の技術力向上のために資することを目的に地方連合会が研修を実施しているものである。

当日は、県内の土地改良区等の職員約60名が参加し、「基盤整備事業における農地中間管理事業」、「経営移譲年金の支給停止」、「土地改良制度の見直し」、「多面的機能支払制度の推進と広域化」などについて講師の方々より説明をいただいた。



平成28年度 土地改良施設維持管理適正化事業説明会

平成29年3月24日（金）、「土地改良施設維持管理適正化事業説明会」が福島県土地改良会館（福島市）で行われた。

当説明会は、翌年度新規加入および工事実施を予定する団体を対象に円滑な事業実施を図る目的で、毎年行われており、今回は新規、実施に関係する14団体の担当者が出席した。

当日は事業に係る留意点、平成29年度に新規加入および工事実施を予定する地区の事務手続きの流れとスケジュールを中心に説明がされ、その他に実施計画の変更申請、交付決定前着手届の手続きや工事実施翌年に行う交付金に係る消費税相当額の報告の手続き等についても併せて説明が行われた。

また、出席した団体に対し施設の定期的な整備補修の必要性や整備改善による管理の効率化及び労力節減を図っていく上で、今後も継続的な新規加入の検討をお願いし、事業推進の啓発を図った。



非補助農業基盤整備資金について

非補助農業基盤整備資金は、土地改良区等が国の補助を受けないで、かんがい排水事業やほ場整備、客土などの農業生産力の増大、生産性の向上を図るための生産基盤の整備や農村環境基盤の整備などに係る費用に対して長期・低利な融資を行う、株式会社日本政策金融公庫（農林水産事業）の制度資金です。

■融資対象となる事業

資金の用途	事業内容
かんがい排水	頭首工（井堰）、ため池、農業用排水施設、水路、温水施設等（併せ行う安全施設等の設置を含む。）の新設・改良。しゅんせつ船等の取得
畑地かんがい	畑地かんがい施設（スプリンクラーの立ち上がり、ヘッドを含む。）の新設・改良
ほ場整備	区画整理、かんがい排水施設、客土、暗渠排水、農道等の工種を総合的に実施する事業
暗渠排水	完全暗渠（土管の埋設）、簡易暗渠（杓木、竹、木材、石れきの埋設）、弾丸暗渠（地下穿孔機牽引する方法）等の新設
客土	搬入客土、流水客土、ポンプ客土
農道	農道（単独舗装や併せ行う安全施設等の設置を含む。）の新設・改良。農道橋の新設・改良
索道	空中ケーブルの新設・改良。軌条（モノラック）の新設・改良
畦畔整備	コンクリート、ブロック、石積畦畔
石れき除去	耕作に支障となる石れきを除去する事業
農地造成	畑（普通畑、樹園地〔地目変換の事業を含む。〕）、田（わさび田等を含む。）の造成
農地保全	シラス等特殊土壌対策、急傾斜地帯対策、水質障害対策等の事業
防災	老朽ため池整備、地盤沈下対策、たん水防除等の事業
維持管理	土地改良施設の補修、更新、しゅんせつ等の事業（水路の補改修、土水路のコンクリート装甲、フリューム設置、水路や農道の安全施設設置、用排水施設のオーバーホール・塗装、維持管理に必要な建物・施設や機械の取得など）
農村環境基盤施設	農林水産省の補助事業として実施する農業集落道、農業集落排水施設、営農飲雑用水施設及び集落防災安全施設の新設・改良。なお、農業集落排水施設については、補助事業に係る農業集落排水整備計画に定められた地域において補助事業を補完して一体的に実施される非補助事業も融資の対象とします。
集落環境基盤施設	農林水産省の補助事業として実施する連絡道の新設・改良
飲雑用水施設	土地改良事業関係補助金交付要綱、農地開発事業補助金交付要綱、農村振興対策事業費補助金等交付要綱及び農山漁村地域整備交付金実施要綱に基づいて行うもの並びに以上の各事業と一体の計画の下に行う末端支派線の工事にかかるもの。

調査設計費も融資の対象となります。

上記の他、牧野の造成、改良、保全及び牧野の保全・利用上必要な施設も融資対象となります。

■貸付条件

償還期限	最長25年（うち据置期間 10年以内）
融資限度額	負担額の100%まで融資が可能。（ただし、1件当たり最低額は50万円）
利率	下記のとおり

農業基盤整備資金の金利改定について

株式会社日本政策金融公庫の農業基盤整備資金について、下記のとおり平成29年5月24日付けで改定されたのでお知らせします。

問い合わせ先：（株）日本政策金融公庫 福島支店 農林水産事業 TEL：024-521-3328

◎株式会社日本政策金融公庫

（単位：％）

区分	改定前					改定後				
	融資期間にかかわらず	融資期間別（一例）				融資期間にかかわらず	融資期間別（一例）			
		5年	10年	15年	20年		5年	10年	15年	20年
都道府県営補助残	0.45	—	—	—	—	0.45	—	—	—	—
団体営補助残	0.30	—	—	—	—	0.30	—	—	—	—
非補助一般	0.30	—	—	—	—	0.30	—	—	—	—
非補助利子軽減	0.30	—	—	—	—	0.30	—	—	—	—
災害復旧		0.16	0.16	0.25	0.30		0.16	0.16	0.24	0.30

（H29.6.1 現在）

金沢調整池・東部森林公園 「さくらと水辺の回廊」ウォーキング

春風を感じ、水辺を散策しながら農業用施設を学ぶ

平成29年4月15日（土）、国営郡山東部地区管理体制整備推進協議会主催により、郡山市東部土地改良区が管理する金沢調整池と郡山市東部森林公園を巡る第6回「さくらと水辺の回廊」ウォーキングが行われた。

今年で6年目を迎え、当日は約70人が参加し、春の風を感じ水辺の景観をめめながら約5キロのコースを楽しんだ。途中、土地改良区の職員から農業用水利施設の説明を受け、施設が有する景観形成、親水機能、防火用水機能などの多面的機能をウォークを通し理解を深めた。

ウォーキング終了後には参加者に地元の食材で作ったなめこ汁とネギ焼きが振る舞われ、またヤグチモモ、ヒガンザクラ、トウカイザクラの枝がプレゼントされた。



平成29年度全国土地改良大会、静岡県で開催

「ふじのくに」で語ろう
土地改良が創る豊かな水十哩を

第40回 静岡大会

全国土地改良大会

平成29年10月25日(水)

会場：ふじのくに千本松フォーラム プラサ ヴェルデ | 沼津市

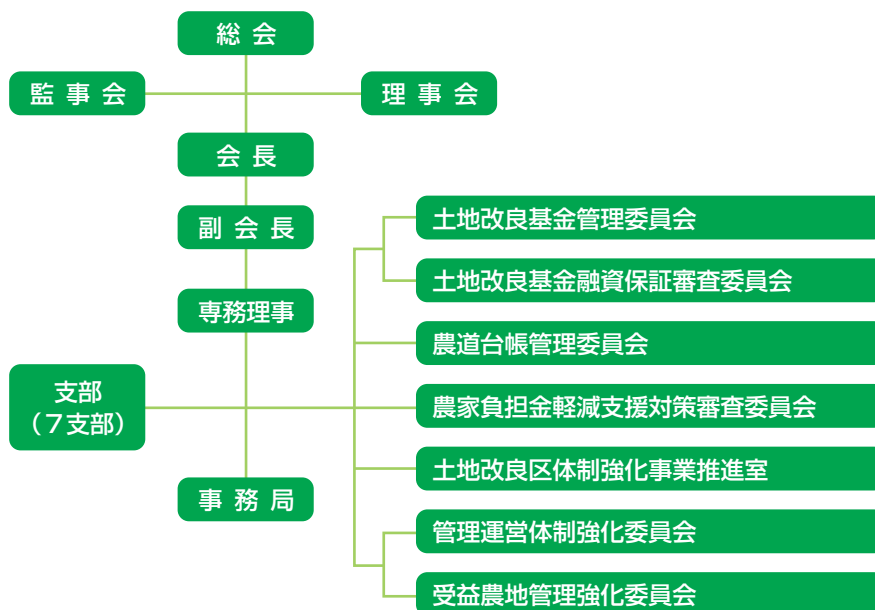
主催：全国土地改良事業団体連合会 静岡県土地改良事業団体連合会

- 大会式典等** 日時：平成29年10月25日（水）
場所：ふじのくに千本松フォーラム プラサ ヴェルデ（静岡県沼津市）
- 事業視察** 日時：平成29年10月26日（木）～27日（金）
場所：静岡県内各地
- 主催** 全国土地改良事業団体連合会
静岡県土地改良事業団体連合会



平成29年度水土里ネット福島 組織機構

組織機構



事務局機構及び事務分掌



水土里ネット福島役員名簿 (平成29年6月1日現在)

役職名	氏名	他の役職
会長	車田 次夫	母畑地区土地改良区理事長
副会長	渡辺 一成	南相馬土地改良区理事長
副会長	穴澤 晃	会津北部土地改良区理事長
専務理事	後藤 庸貴	学識経験者
理事	原田 光一	福島市土地改良区理事長
理事	佐藤 源市	東和町土地改良区理事長
理事	佐藤 秀雄	伊達西根堰土地改良区理事長
理事	本田 陸夫	安積疏水土地改良区理事長
理事	鈴木 義孝	三春町長、三春町土地改良区理事長
理事	野崎 吉郎	矢吹町長、矢吹原・矢吹土地改良区理事長
理事	関谷 亮一	白河市土地改良区理事長
理事	二瓶 和馬	会津東部土地改良区理事長
理事	齋藤 善平	阿賀川土地改良区理事長
理事	渡部 英敏	会津美里町長、会津宮川土地改良区理事長
理事	大宅 宗吉	南会津町長
理事	遠藤 雄幸	川内村長
理事	草野 弘嗣	小川町土地改良区理事長
総括監事	小抜 勲	須賀川市土地改良区理事長
監事	馬場 有	浪江町長、請戸川土地改良区理事長
監事	佐藤 寛	会津中央土地改良区理事長

平成29年度新規採用職員を紹介

平成29年4月1日付けで、本会に新規採用されました職員をご紹介します。
これから、どうぞ宜しくお願いいたします。



あべ ゆう き
阿部 優 樹
農村振興部
農村整備課 技師



いし ど りょう
宍戸 凌
農村振興部
農村整備課 技師



せき ね まこと
関 根 誠
農村振興部
農村整備課 技師




にっ くに まさと
新 國 真人
農村振興部
測量課 技師



県内の土地改良区ホームページをご紹介します。

- 福島市土地改良区 <http://fukutokai.web.fc2.com/>
- 伊達西根堰土地改良区 <http://sky.geocities.jp/datenishine/>
- 安積疏水土地改良区 <http://www.asakasosui.jp/>
- 矢吹原土地改良区 <http://yabukihara.org/>
- 会津北部土地改良区 <http://www.aizuhokubu.or.jp/>
- 会津宮川土地改良区 <http://www.aizumiyakawa.jp/>
- 戸ノ口堰土地改良区 <http://www.tonokutiseki-tochikairyoku.com/>
- 南相馬土地改良区 <http://midorinet-minamisoma.jp/>
- 請戸川土地改良区 <http://www.ukedogawa.jp/>
- 愛谷堰土地改良区 <http://www8.plala.or.jp/aiya/>
- 鮫川堰土地改良区 <http://www.ac.auone-net.jp/~samegawa/>

土地連の登録内容及び有資格者数

土地連の登録内容 (H29.6.1現在)		各種有資格者数 (H29.6.1現在)			
登録内容	登録年月日・登録番号	NO	資格名称	資格人数	
ISO9001:2008/JISQ9001:2008 マネジメントシステム登録 	H27.2.16付更新 登録証番号 JQA-QMA13143	測量業者部門	1 測量士	19	
			2 測量士補	20	
建設コンサルタント	H27.12.3付更新 建27第7079号 農業土木部門	建設コンサルタント部門	3 GIS 1級	1	
			4 技術士(農業部門)	6	
計量証明事業登録	H7.7.3付登録 第環34号	建築コンサルタント部門	5 技術士補(農業部門)	20	
			6 技術士補(環境部門)	1	
測量業者登録	H27.9.7付更新 登録第(2)-032811号	計量証明事業部門	7 R C C M (農業土木)	6	
			8 R C C M (下水道)	1	
浄化槽保守点検業者登録	H27.5.14付更新 福島県知事登録第1353号	換地部門	9 2級建築士	1	
			10 環境計量士	1	
農業農村整備事業 発注者支援機関認定	H28.3.31付認定 第1607号	集落排水、維持管理部門	11 土地改良換地士	8	
			12 土地改良補償業務管理者	5	
			13 上級農業集落排水計画設計士	5	
			14 農業集落排水計画設計士	1	
			15 浄化槽技術管理者	14	
			16 浄化槽管理士	14	
			各部門関連資格	17 農業水利施設機能総合診断士	1
				18 農業水利施設補修工事品質管理士	2
				19 農業農村地理情報システム技士	2
				20 農業土木技術管理士	1
				21 土地改良専門技術者	5
				22 1級土木施工管理技士	6
				23 2級土木施工管理技士	1
24 第三種電気主任技術者	1				
25 2級管工事施工管理技士	1				
26 浄化槽設備士	4				
27 公害防止管理者	1				

お知らせ：「農家のみなさんへ」の放送内容は、水土里ネット福島のホームページに掲載しております。
ホームページアドレス <http://www.midorinet-fukushima.jp> にて、ご愛読くださるようお願い致します。

農業農村整備の調査測量設計・農業集落排水事業・換地業務・確定測量・その他土地改良事業のご相談は



福島県土地改良事業団体連合会

〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地